

マニラ首都圏を含む11地域の児童福祉施設及び自治体における子ども達の支援体制強化プロジェクト（2021年～2024年）

貧困家庭の子ども達の社会復帰を支援する

■ 実施団体：特定非営利活動法人アクション

■ 対象国・地域：
フィリピン国内全地域

■ 現地カウンターパート
社会福祉開発省(DSWD)
少年福祉法審議会(JJWC)



■ 協力内容：

- ・ **ハウスペアレント能力強化研修の全国展開**：全国の児童福祉施設の養護職員（ハウスペアレント）を対象に、子どものケアに関する知識・スキルの向上を目指す研修を実施
- ・ **ライフスキル向上プログラムの公式化**：罪を犯した子ども達及び予備軍の子ども達の再犯・犯罪関与を予防するライフスキルプログラムの実施と公式プログラム化
- ・ **日本版ライフスキルプログラムの開発**：フィリピンで作成したプログラムの日本語版を作成・日本の子ども達への提供

■ 団体のこれまでの取り組み：

先行事業（フェーズ1：2012-2015、フェーズ2：2016-2019）を実施。「ハウスペアレント研修プログラム」を完成、国の研修規程として制定された。「ライフスキル向上プログラム」研修モジュールを開発した。

■ 事業実施の背景：

児童福祉施設・青少年更生施設を退所後に犯罪に巻き込まれる子ども達が多発しているため、フィリピン政府より子ども達の社会復帰を促す事業（フェーズ3）の実施が要請された。



フィリピン国の課題と成果

課題① ハウスペアレントに子どものケアの知識・スキルが不足しているため、国の研修に指定された「ハウスペアレント能力強化研修」の全国展開が急務である。

成果① 全国で計240名の研修トレーナーが育成され、計1,092名のハウスペアレントが研修を受けた。事業終了後も、DSWDの予算で全国の児童養護施設を対象に能力強化研修が実施されている。

課題② 青少年更生施設の子どもの及び罪を犯した子どもに対しては、更生プログラムの実施が義務付けられているが、適切な運用はされていない。

成果② 対象9自治体・青少年更生施設6箇所で「ライフスキル向上プログラム」を実施、受講した子ども達の80%に効果が認められた。公式プログラム化され、JJWCによる全国展開が進んでいる。

事業の波及効果

！ **政府のプログラムとして予算化・全国展開へ！**

ハウスペアレント能力強化研修・ライフスキル向上プログラムともに、政府の公式な研修制度として認定されたことにより、DSWD・JJWCのプログラムとして予算が確保され、着実に全国展開が進んでいる。

！ **日本の子ども達にもライフスキルを学ぶ機会が！**

フィリピンで開発したライフスキル向上プログラムのテキストを和訳、日本の子ども達の興味関心に合わせてアクティビティを改訂し、日本版ライフスキルプログラムが作成された。児童養護の専門家と連携し、日本国内でも普及が期待される。